【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年3月7日(2023.3.7)

【国際公開番号】WO2022/215462
【出願番号】特願2022-546446(P2022-546446)
【国際特許分類】
H01H 36/00(2006.01)
【FI】
H01H 36/00 K
H01H 36/00 J

【手続補正書】
【提出日】令和4年7月29日(2022.7.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
凹部が形成され、前記凹部の周囲に配置される第１接続端子、及び前記凹部の底面に配置される平板状の第２接続端子を有する基板と、
前記凹部に配置され、前記第２接続端子に接触する誘電体と、
下面が前記第１接続端子に接触すると共に、前記誘電体の上方に前記誘電体から離隔して配置される可とう性の導電シートと、
枠状の形状を有し、内側の縁が前記導電シートを押下するように配置されるたわみ防止シートと、を有し、
前記第２接続端子、前記誘電体及び前記導電シートは、前記導電シートが押下されることに応じて容量が変化する可変コンデンサを形成する、
ことを特徴とする感圧スイッチ。
【請求項２】
貫通孔が中央部に形成され、前記誘電体と前記導電シートとの間に配置されるスペーサを更に有する、請求項１に記載の感圧スイッチ。
【請求項３】
枠状の平面形状を有し、前記導電シートを挟持するように配置され、前記基板に下面が接着される接着シートを更に有する、請求項１又は２に記載の感圧スイッチ。
【請求項４】
前記導電シートを覆うように配置された防水シートを更に備える、請求項１～３の何れか一項に記載の感圧スイッチ。
【請求項５】
外縁が前記接着シートの上面に接着されることで導電シートを覆うように配置される防水シートと、
上面から下面に貫通する押下孔が形成され、下面が前記防水シートに接着されるケースと、
を更に有する、請求項２～４の何れか一項に記載の感圧スイッチ。
【請求項６】
前記ケースは、開口部の面積が前記押下孔の開口部の面積よりもより大きく且つケースの底面を平面視したときに前記押下孔の開口部を含む凹部が下面に形成される、請求項５に記載の感圧スイッチ。

【請求項７】
前記凹部の幅は、前記誘電体の幅よりも広い、請求項６に記載の感圧スイッチ。
【請求項８】
前記第１接続端子は、複数の突起部が形成される、請求項１～７の何れか一項に記載の感圧スイッチ。
【請求項９】
凹部が形成され、前記凹部の周囲に配置される第１接続端子、及び前記凹部の底面に配置される平板状の第２接続端子を有する複数の基板が連結した集合基板に、前記第２接続端子に接触するように誘電体を配置し、
下面が前記第１接続端子に接触すると共に、前記誘電体の上方に前記誘電体から離隔するように可とう性の導電シートを配置し、
枠状の形状を有するたわみ防止シートを、前記たわみ防止シートの内側の縁が前記導電シートを押下するように配置し、
前記集合基板を分割する、
ことを含む感圧スイッチの製造方法。
【請求項１０】
凹部が形成され、枠状の平面形状を有し且つ前記凹部の周囲に配置される第１接続端子、及び前記凹部の底面に配置される平板状の第２接続端子を有する基板と、
前記凹部に配置され、前記第２接続端子に接触する誘電体と、
下面が前記第１接続端子に接触すると共に、前記誘電体の上方に前記誘電体から離隔して配置される可とう性の導電シートと、
前記第２接続端子、前記誘電体及び前記導電シートは、前記導電シートが押下されることに応じて容量が変化する可変コンデンサを形成する、
ことを特徴とする感圧スイッチ。
【請求項１１】
凹部が形成され、前記凹部の周囲に配置される第１接続端子、及び前記凹部の底面に配置される平板状の第２接続端子を有する基板と、
前記凹部に配置され、前記第２接続端子に接触する誘電体と、
下面が前記第１接続端子に接触すると共に、前記誘電体の上方に前記誘電体から離隔して配置される可とう性の導電シートと、
枠状の平面形状を有し、前記導電シートの周囲を囲み且つ前記導電シートを挟持するように配置され、前記基板に下面が接着される接着シートと、を有し、
前記第２接続端子、前記誘電体及び前記導電シートは、前記導電シートが押下されることに応じて容量が変化する可変コンデンサを形成する、
ことを特徴とする感圧スイッチ。